

私的録音録画に関する実態調査
(私的録画編)

著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会
報告用資料

2014年8月7日

公益社団法人 著作権情報センター附属著作権研究所

(調査実施機関：株式会社野村総合研究所)

1. 私的録画に関する実態調査の結果の概要

今回の私的録画に関する調査では、国内一般ユーザのデジタル録画実態を定量的に把握することを目的として、アンケート調査を実施した。費用対効果、サンプリング対象の的確性などの観点から、WEB調査（インターネットユーザ対象）、郵送調査（一般ユーザ対象）の二つの調査を併用した。

また、この二つの調査のいずれも、一次調査、二次調査の二段階のアンケートを実施した。

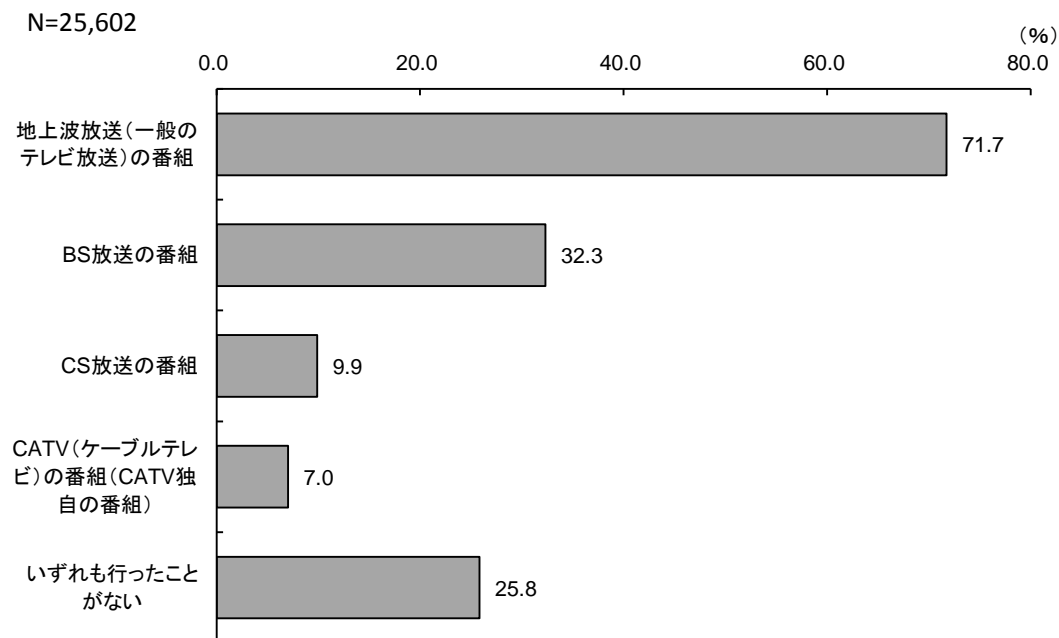
	内容	有効サンプル数	
		WEB調査	郵送調査
一次調査	デジタル録画機器の保有状況を広く把握するとともに、デジタル録画の実施有無を把握し、二次調査の対象者抽出を兼ねた調査。	27,742	1,907
二次調査	デジタル録画を実施しているユーザを対象に、デジタル録画機器の利用状況、録画時間、保存・消去の状況等、デジタル録画の具体的状況を把握する調査。	3,067	600

なお、郵送調査については、近年のインターネット普及率の高まりを勘案し、あくまでWEB調査の結果を補完する位置づけとする。また、調査手法上の制約により、WEB調査では一次調査となっている項目の一部が、郵送調査では二次調査の項目となっていることに注意されたい。

以下、調査結果の概要を示すが、郵送調査についてはWEB調査の補完の位置づけであるため、記述については、全てWEB調査の結果を元としている。

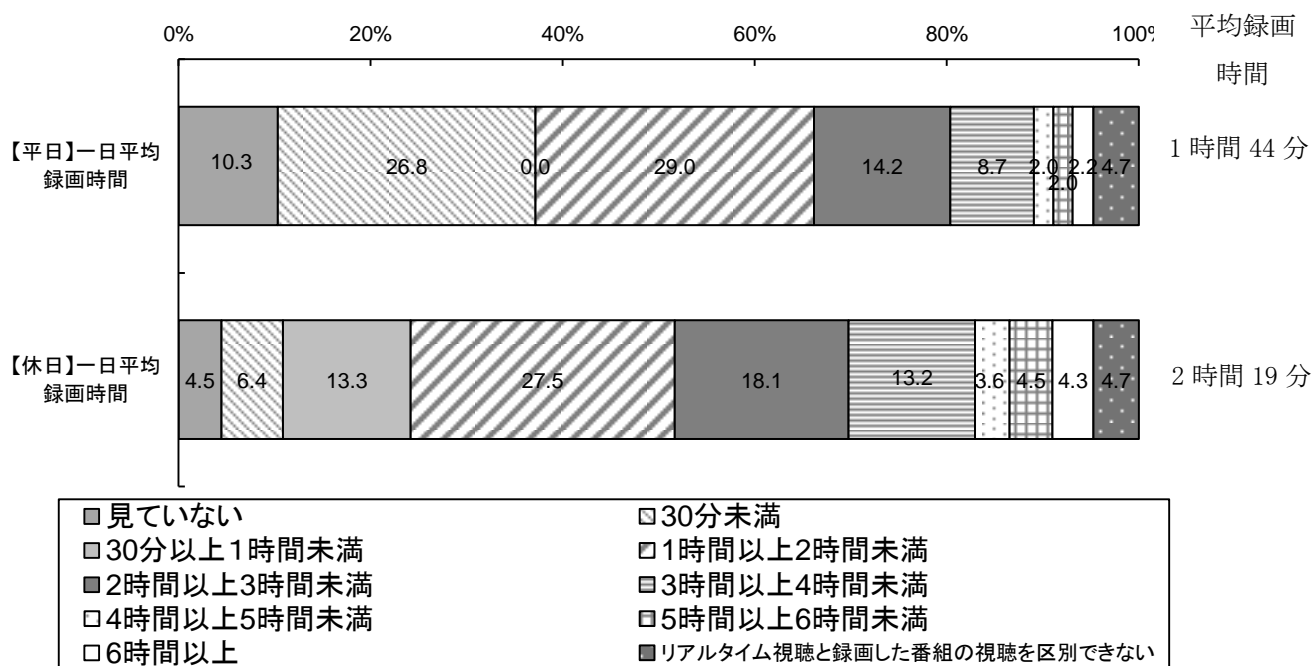
最初に、テレビ番組の録画を実施しているユーザの比率は、地上デジタル放送について全体の71.7%となっている（P.2, 図表 1-1）。

**図表 1-1 [WEB] あなたは、過去1年間で、以下のテレビ番組を録画・コピー（ダビング）をしましたか。
過去1年間で録画・コピー（ダビング）したことがあるものをすべてお答えください。（SQ11・MA）**



また、デジタル録画を実施している人の平均的な録画時間は、録画したが実際には視聴していない番組も含めると、平日平均1時間44分、休日平均2時間19分である（P. 3, 図表 1-2）。

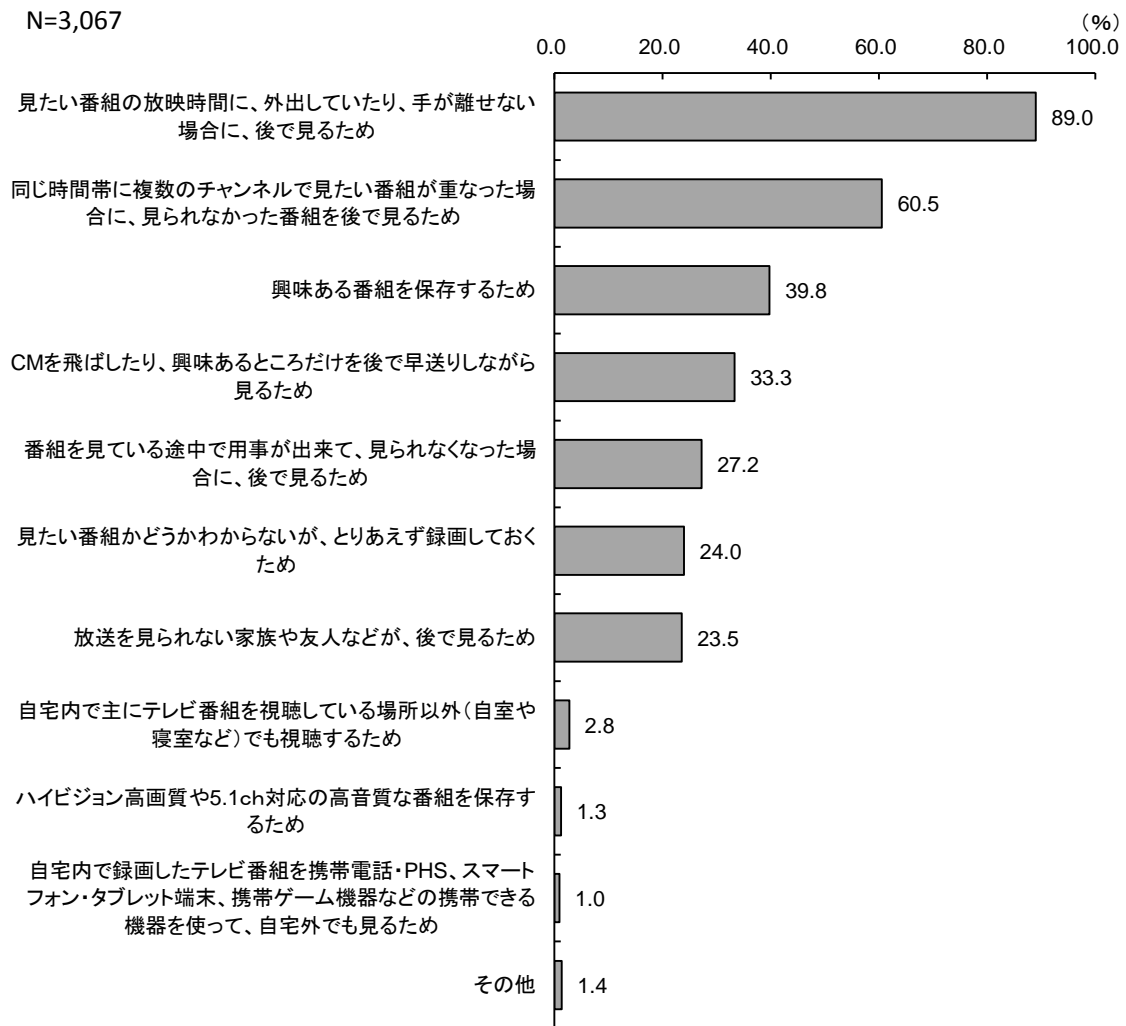
図表 1-2 [WEB]録画したテレビ番組の視聴時間(Q2・SA)と録画した番組を実際に視聴した割合(Q9・SA)で推計した、未視聴も含む一日平均録画時間



(注) 未視聴分も含めた録画時間は、各回答者の録画番組の視聴時間（P. 7, 図表 1-6）を録画した番組を実際に視聴した割合（P. 23, 参考図表 1）で除算して推計している。

録画行為の目的は、視聴時間を実際の放送より都合のよい時間へずらすことが中心である。視聴時間ではなく、視聴場所の移動を目的とした録画はこれに比べ少数となっている（P. 4, 図表 1-3）。

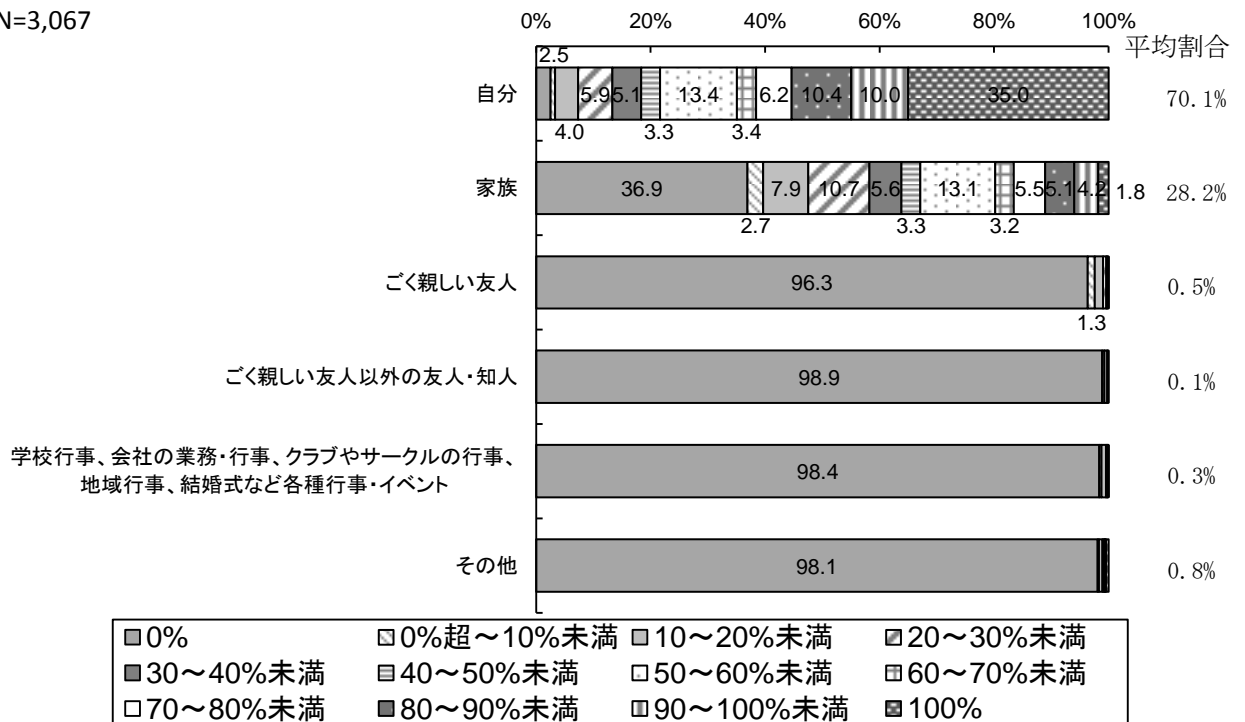
図表 1-3 [WEB] 以下の録画に関する理由・事情それぞれについて、あなたご自身にあてはまるものはどれですか。あてはまるものを全てお選びください。(Q26・MA)



また、録画行為は、自分自身、もしくは、家族のために行われるケースがほぼ全てであり（98.3%）、友人・知人やイベント使用のために録画するケースは少ない（P.5, 図表 1-4）。加えて、録画しているジャンルとしては、テレビドラマ（日本）、映画（日本）、映画（海外）、バラエティが主要なジャンルである（P.6, 図表 1-5）。

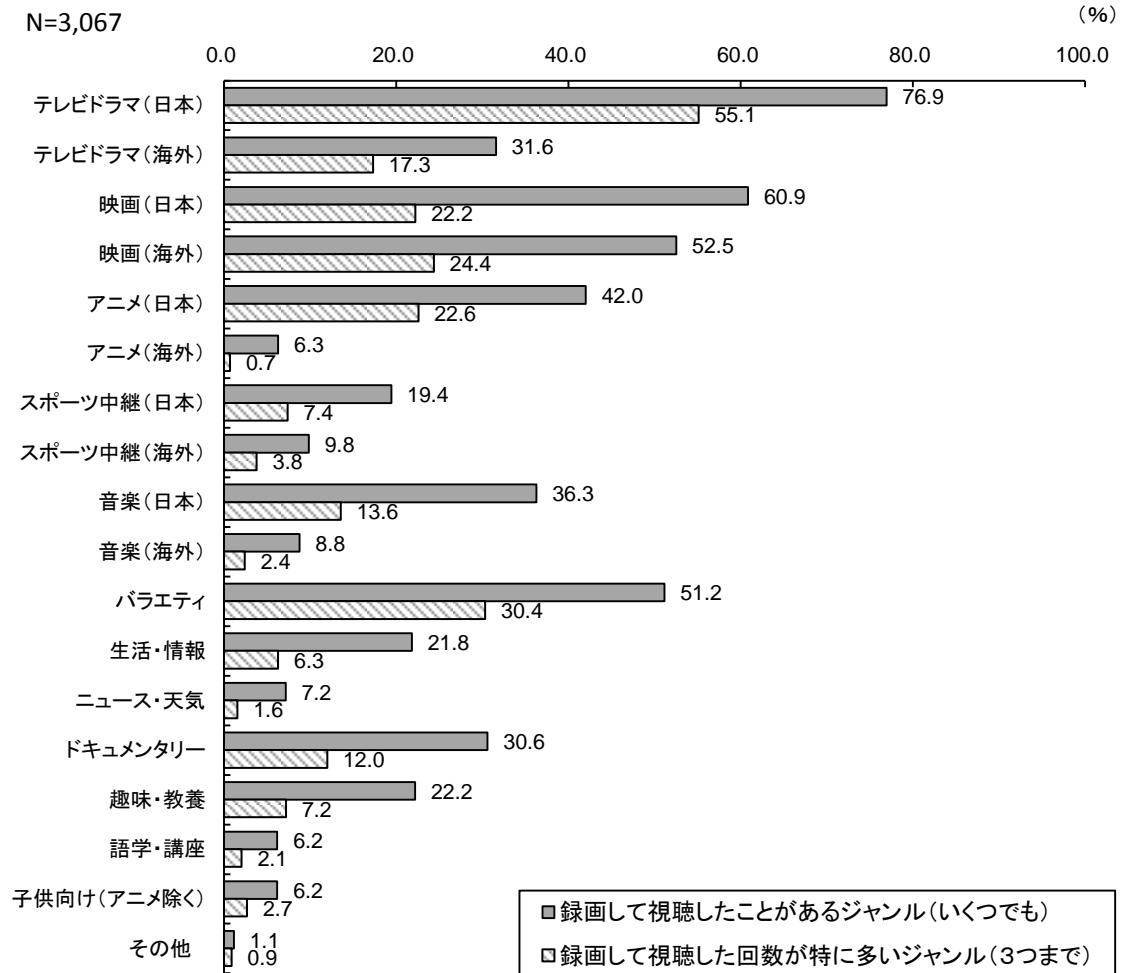
図表 1-4 [WEB] あなたは過去1年間に誰のためにどのくらいの割合でテレビ番組をデジタル録画機器で録画しましたか。複数の機器で録画されている方は、その合計でお答えください。（Q25-SA）

N=3,067



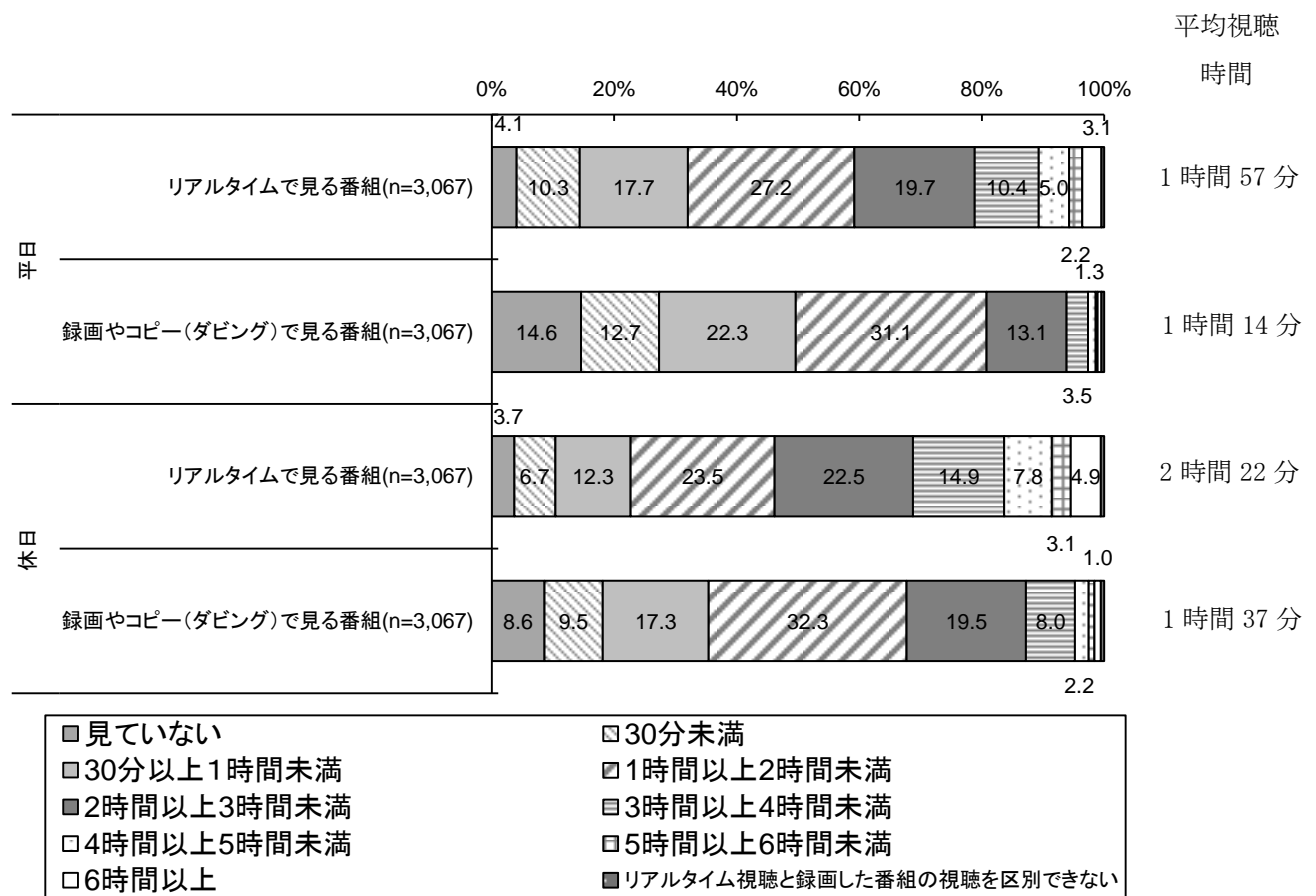
（注）平均割合については、各回答者の自由回答内容を単純平均して算出している。

図表 1-5 [WEB] あなたは最近 1 年間にジャンル別でどのテレビ番組を録画して、実際に視聴しましたか。録画して視聴したことがあるジャンル、そのうち録画して視聴した回数が特に多いジャンル(3つまで)をお知らせください。(Q23・MA)

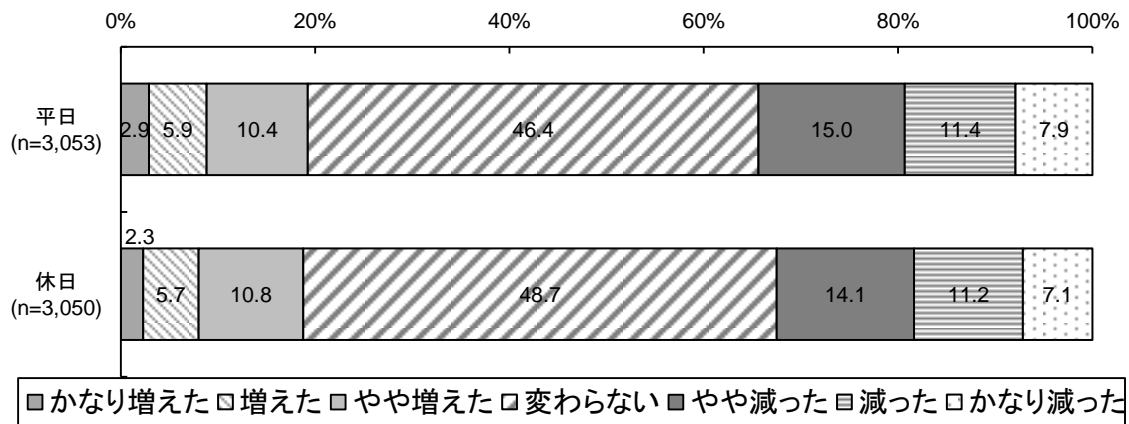


テレビ番組の視聴行為に目を転ずると、リアルタイムでの視聴が平日平均1時間57分、休日平均2時間22分、録画番組の視聴が平日平均1時間14分、休日平均1時間37分であり、視聴時間に占める録画番組の割合は約40%である（P.7, 図表1-6）。また、過去3年間における視聴時間の変化については、30%以上の回答者でリアルタイム視聴が減少している一方、約40%の回答者で録画番組の視聴が増加している（P.8, 図表1-7、P.8, 図表1-8）。

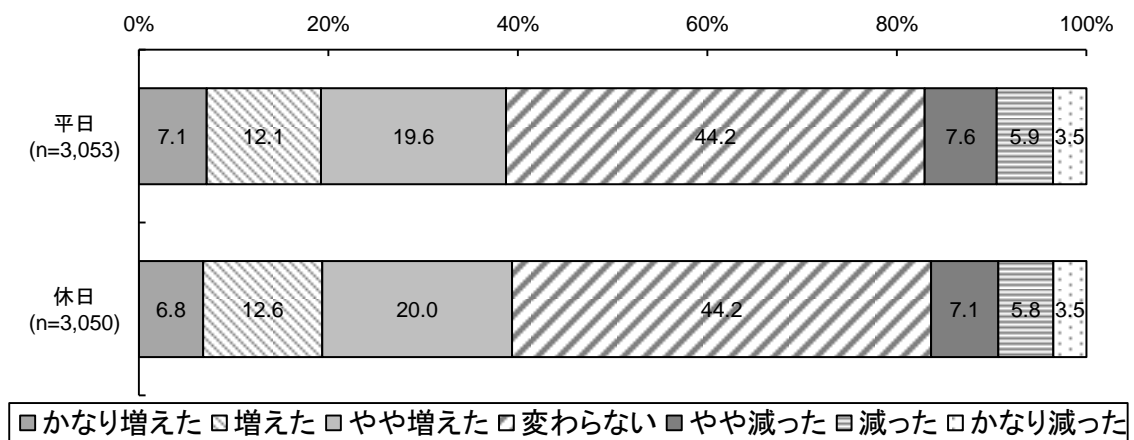
図表 1-6 [WEB] テレビ番組を視聴する時間は一日平均どのくらいですか。なお、録画せずにリアルタイムで見る番組、録画やコピー（ダビング）をして見る番組、それぞれについて、平日と休日に分けてお答えください。（Q2-SA）



図表 1-7 [WEB] 過去 1 年間にテレビ番組を録画やコピーすることなく、リアルタイムで視聴した時間は、3 年前の 1 年間と比べると、どう変化しましたか。あてはまるものを平日と休日に分けてお答えください。(Q3・SA)

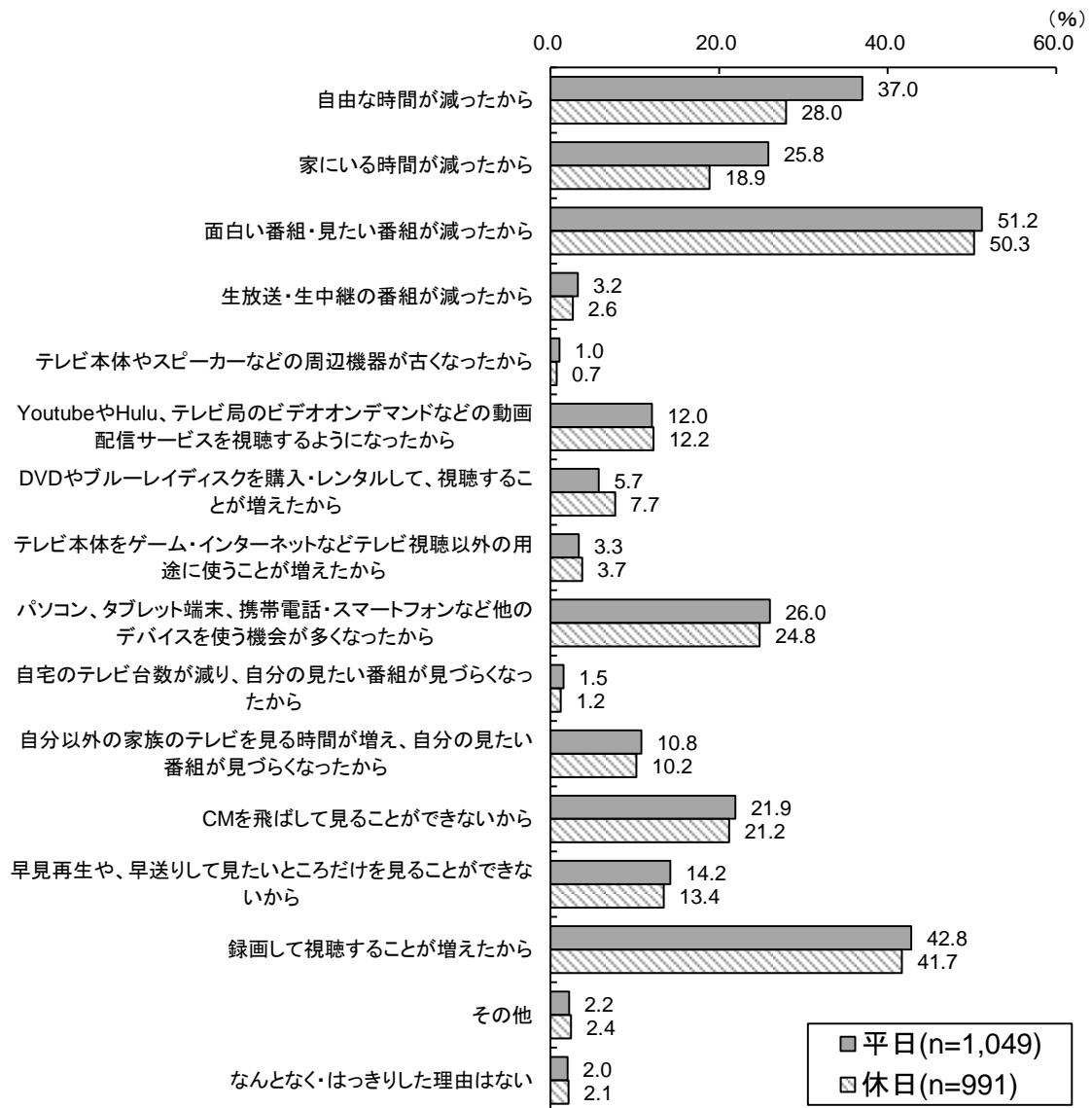


図表 1-8 [WEB] 過去 1 年間に録画やコピー(ダビング)したテレビ番組を視聴した時間は、3 年前の 1 年間と比べると、どう変化しましたか。あてはまるものを平日と休日に分けてお答えください。(Q6・SA)



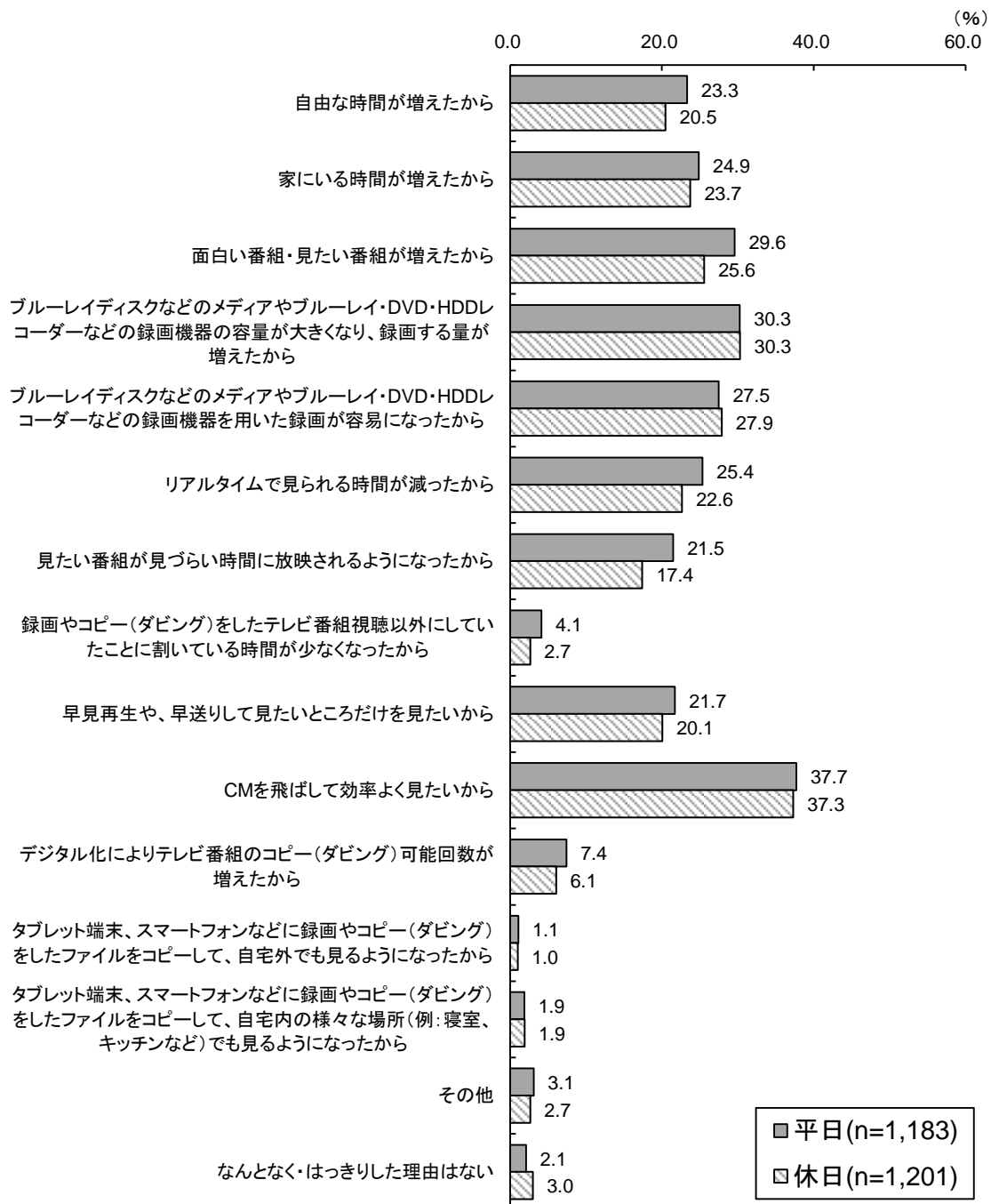
上記変化の要因として、リアルタイムでのテレビ視聴が減った理由を尋ねると、「面白い番組・見たい番組が減ったから」「録画して視聴することが増えたから」が、主な理由となっている（P.9, 図表 1-9）。

図表 1-9 [WEB] あなたの視聴時間が減少した「平日」もしくは「休日」におけるリアルタイムでのテレビ番組視聴が減った理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(Q5・MA)



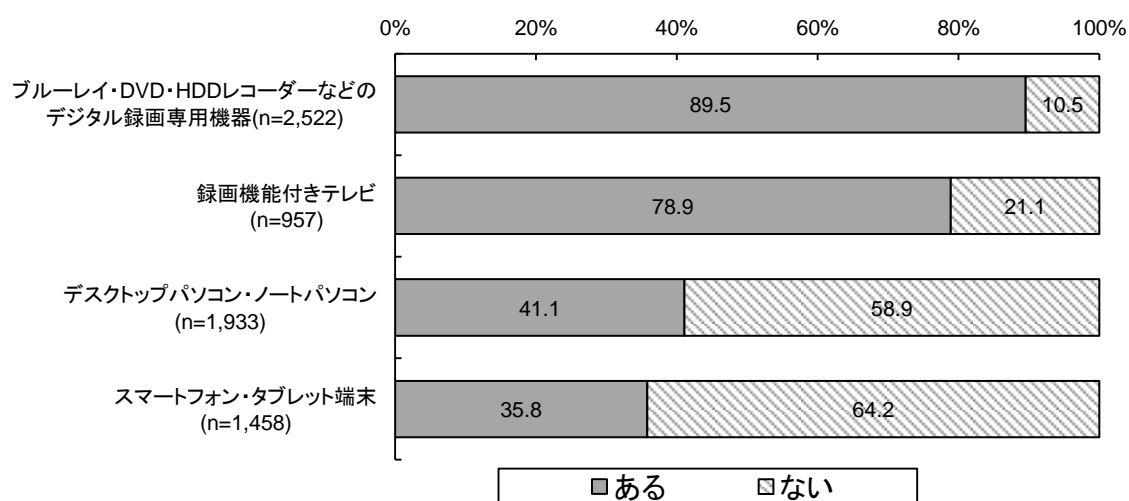
一方、録画したテレビ番組の視聴が増加した理由を見ると、「CMを飛ばして効率よく見たいから」が約40%と最も多く、次いで、機器やメディアの大容量化や高機能化などが続く（P. 10, 図表 1-10）。

図表 1-10 [WEB] あなたの視聴時間が増加した「平日」もしくは「休日」における録画やコピー（ダビング）をしたテレビ番組を視聴する時間が増えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（Q7・MA）



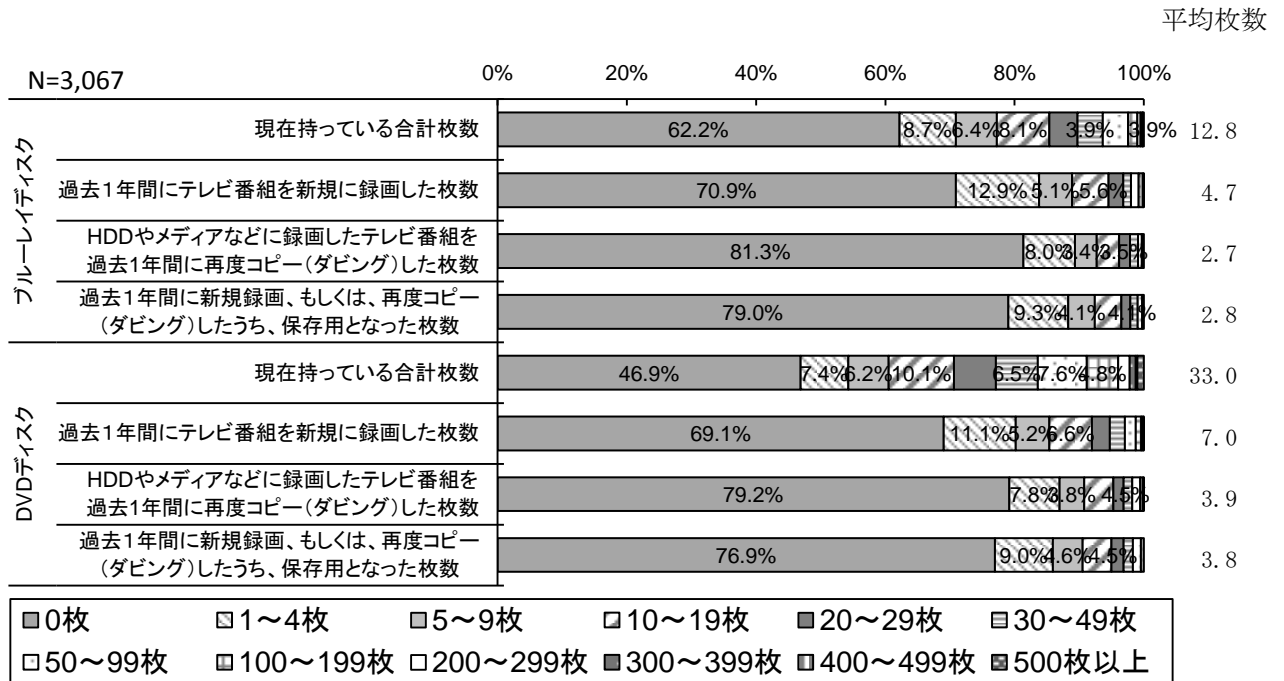
録画を実施している機器・メディアの状況については、HDD レコーダーや録画機能付きテレビの HDD (SSD) への録画は約 80~90%であり (P. 11, 図表 1-11)、ブルーレイディスクや DVD ディスクについては、いずれも過去 1 年間に新規録画をしていない割合が約 70%となっている (P. 12, 図表 1-12)。HDD レコーダーや録画機能付きテレビの HDD (SSD) への録画が中心であり、ブルーレイディスクや DVD ディスクへの録画は少ない。

図表 1-11 [WEB] あなたは過去 1 年間にブルーレイ・DVD・HDD レコーダーなどのデジタル録画専用機器、録画機能付きテレビ、デスクトップパソコン・ノートパソコン、スマートフォン・タブレット、それぞれの機器の HDD(あるいは SSD)やメモリ(※DVD やブルーレイなどの光学メディアは除く)にテレビ番組を録画したことがありますか。(Q10-SA)



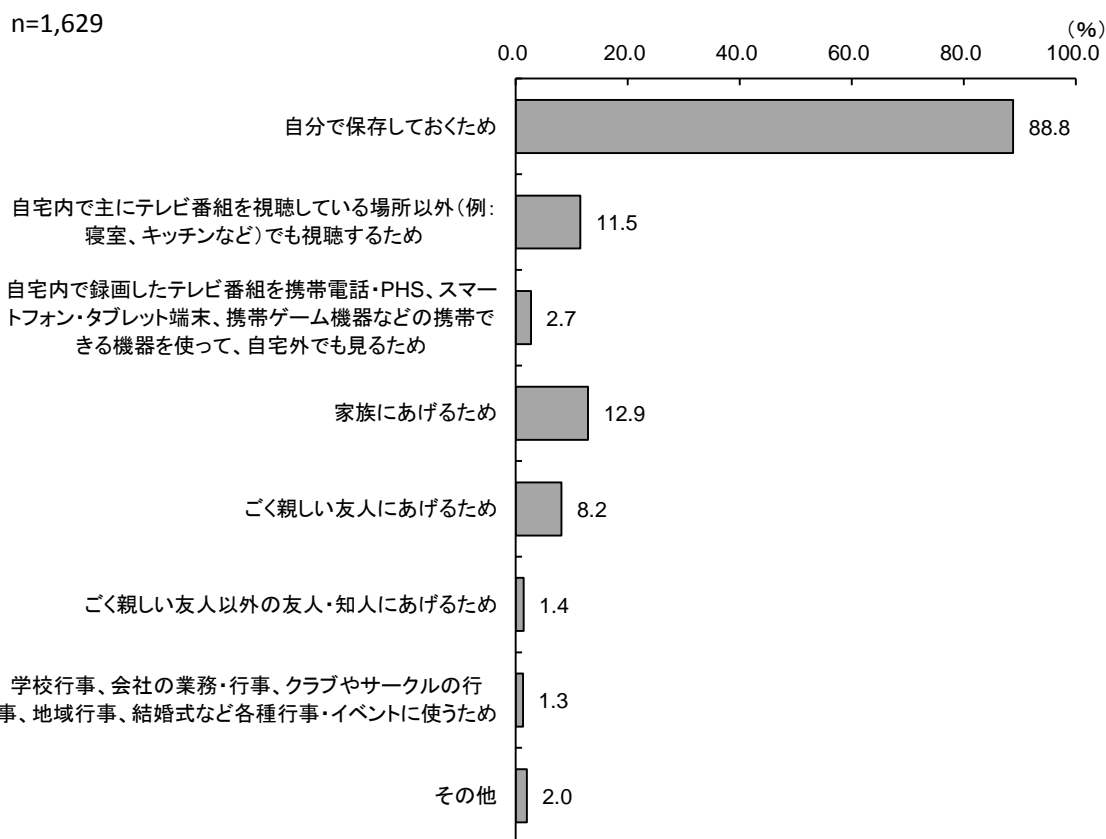
(注) HDD (もしくは、SSD) やメモリについては機器に内蔵のものか、外付けのものかは区別していない。

図表 1-12 [WEB] あなたは、現在ご自分でテレビ番組を録画されたブルーレイディスク、DVD ディスクを何枚ぐらいお持ちですか。また、過去1年間にテレビ番組を新規に録画した枚数、過去1年間にHDDやメディアなどに録画したテレビ番組を再度コピー(ダビング)した枚数、新規録画、もしくは、再度コピー(ダビング)した後保存用(現在もお持ちの)となった枚数をお答えください。(Q27・SA)



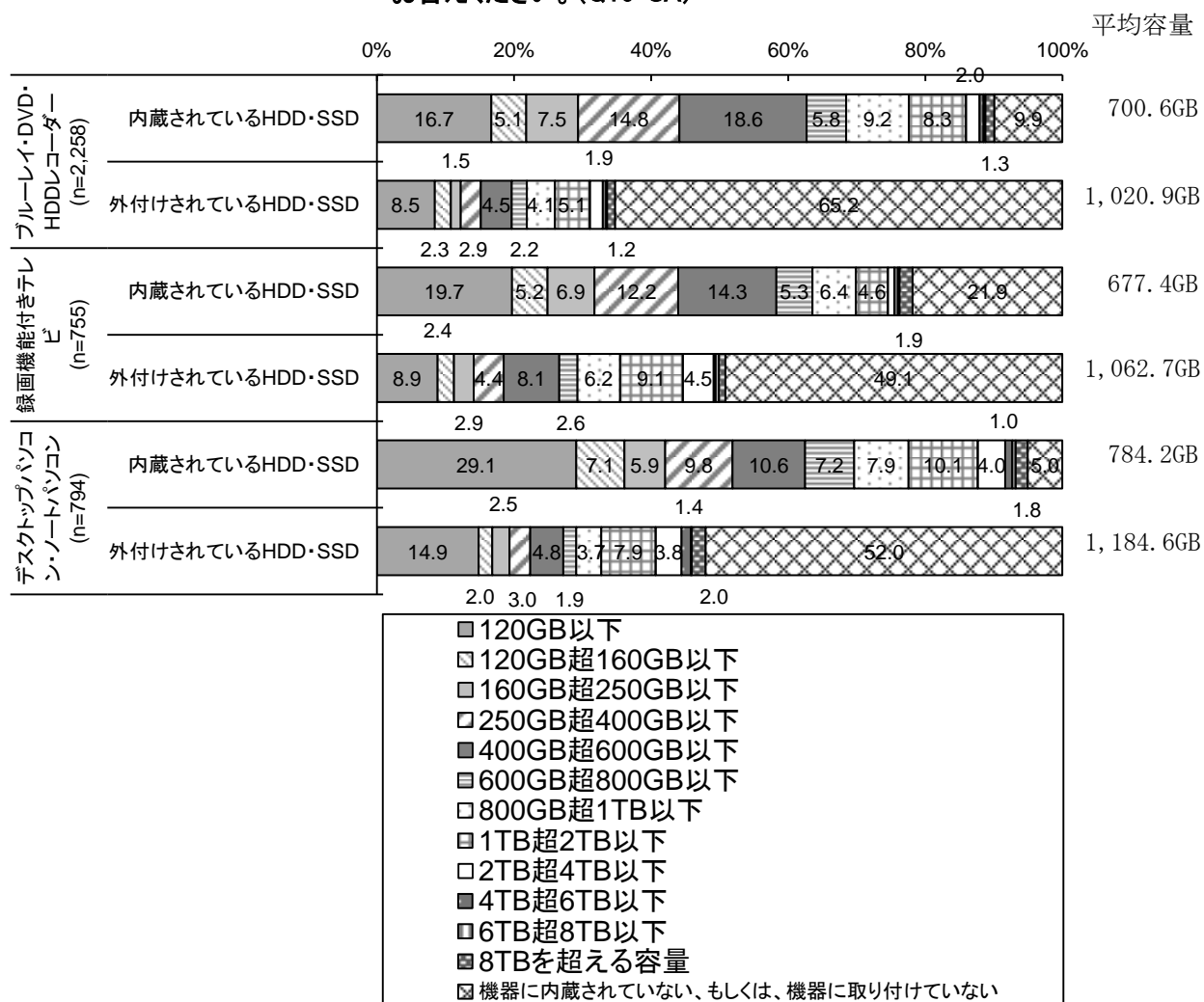
ブルーレイディスクやDVDディスクに録画する理由については、自分自身向けの保存が約90%と高い（P. 13, 図表 1-13）。

図表 1-13 [WEB] 過去一年間にブルーレイディスク、DVDなどのメディアにテレビ番組を録画・コピー（ダビング）した方にお聞きします。メディアに録画・コピー（ダビング）する理由は何ですか。（Q30・MA）

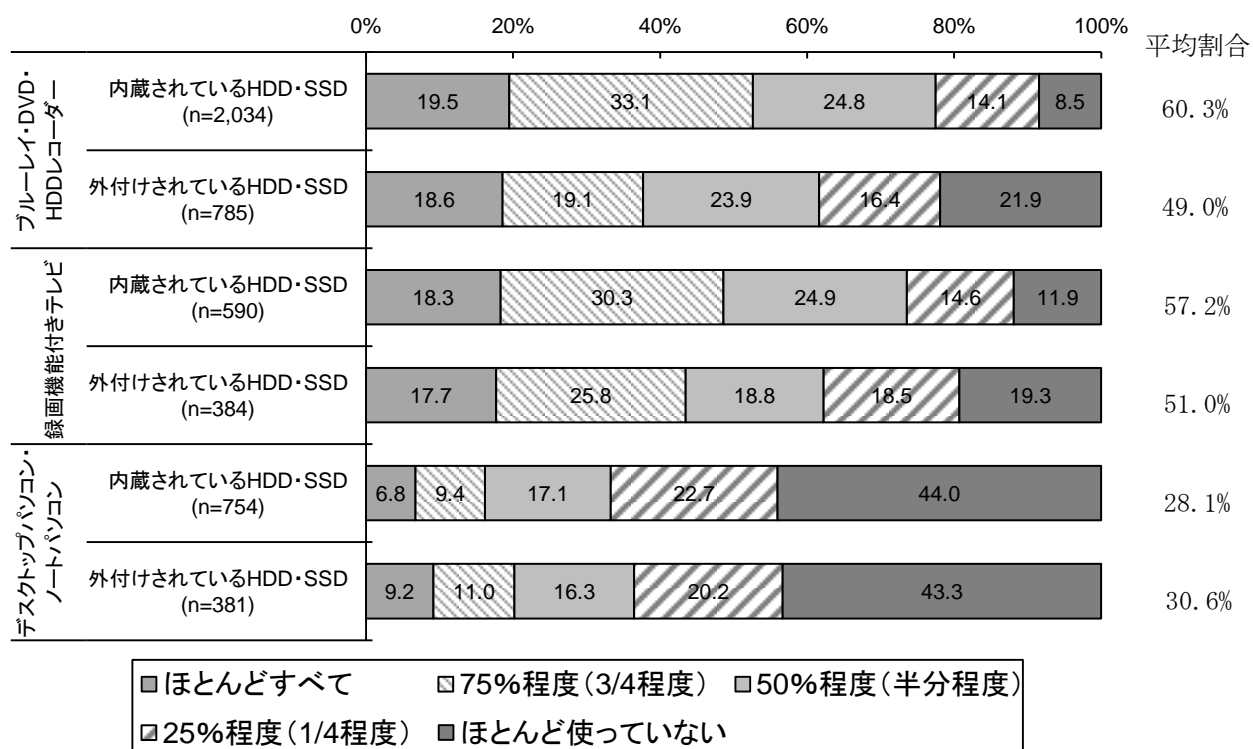


また、録画機器の保存容量については、HDD レコーダー、録画機能付きテレビでは、内蔵 HDD で平均約 700GB、外付け HDD で平均 1TB (1,000GB) 超となっており、保存容量の大きい機器が普及している (P. 14, 図表 1-14)。また、実際の HDD の使用割合を見ると、HDD レコーダー・録画機能付きテレビの内蔵 HDD で、平均使用割合は約 60%となっている (P. 15, 図表 1-15)。

図表 1-14 [WEB] あなたが過去 1 年間に録画にお使い(お使いになった)の HDD(SSD も含みます)の容量はどのくらいですか。機器に内蔵されている HDD・SSD と外付けされている HDD・SSD を分けてお答えください。(Q16-SA)

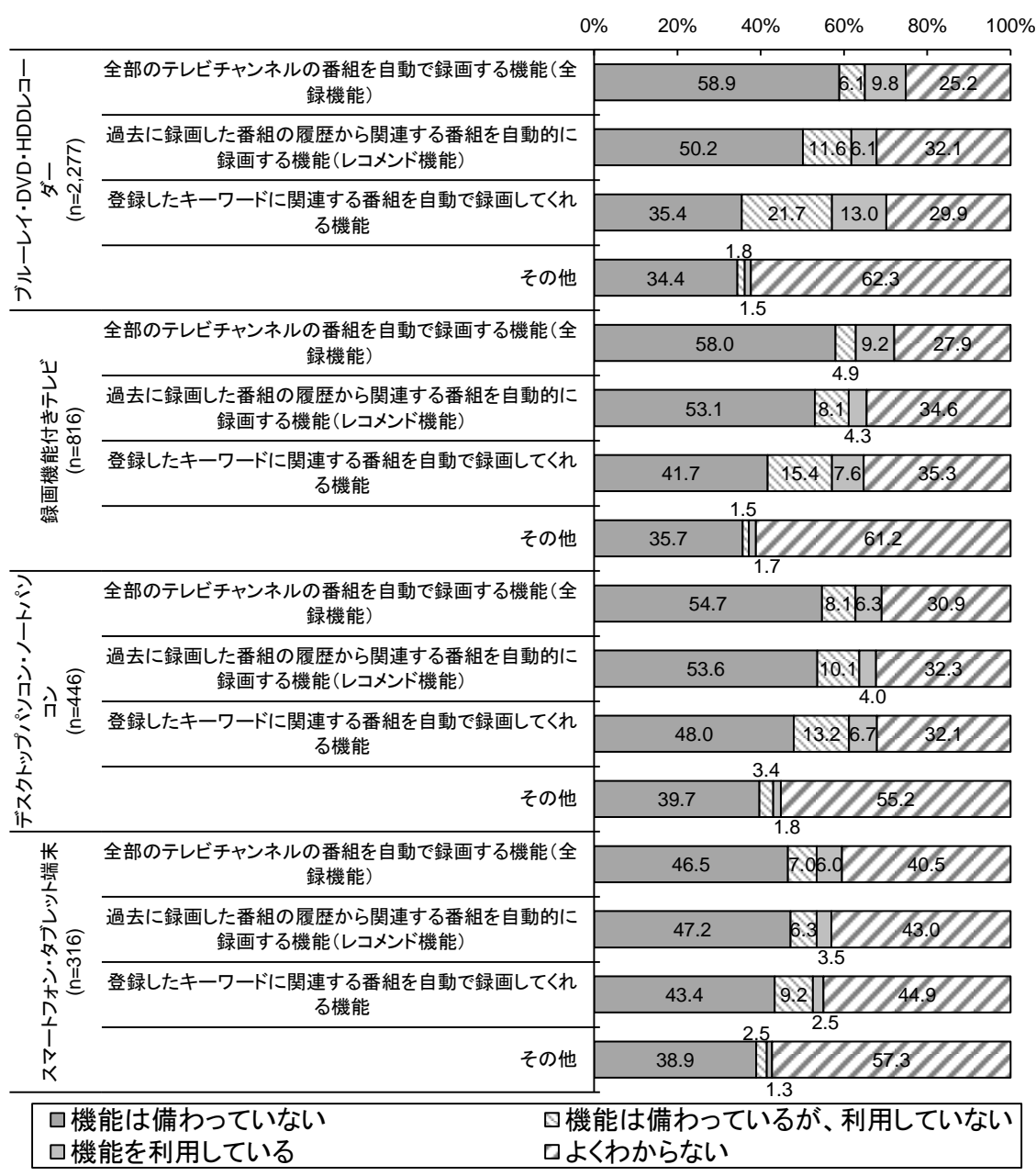


図表 1-15[WEB]ブルーレイ・DVD・HDDレコーダーなどのデジタル録画機器のHDD(もしくは、SSD)の容量のうち、どのくらいを使用していますか。おおよその割合をお答えください。(Q17・SA)



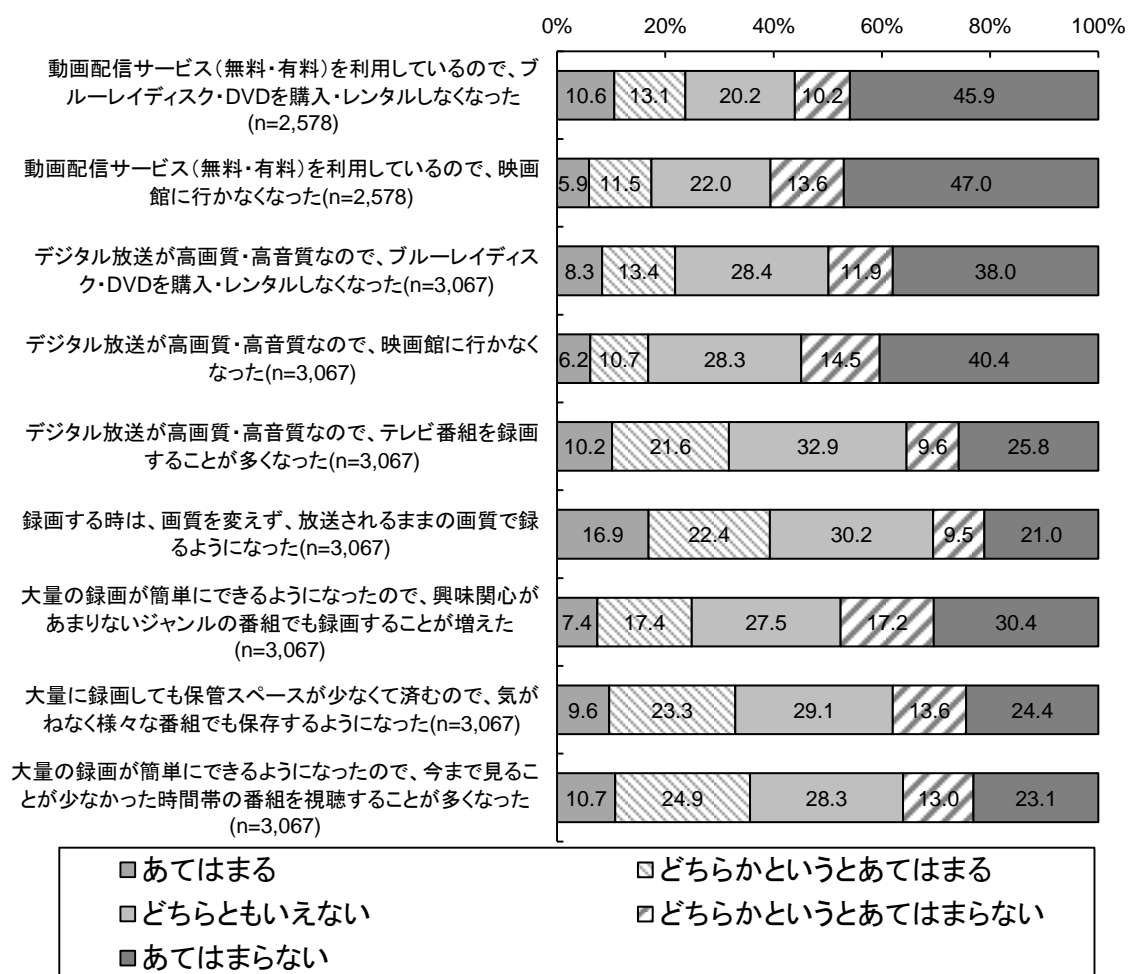
録画機器の機能面については、HDD レコーダーで過去の録画履歴から自動録画する機能（17.8%）や設定されたキーワードから自動録画する機能（34.7%）が備わるなど、ユーザによる番組選択を全く必要としない録画も広まりつつある（P. 16, 図表 1-16）。

図表 1-16 [WEB] あなたがご家庭で利用している(利用していた)ブルーレイ・DVD・HDDレコーダー、録画機能付きテレビ、パソコン、タブレット端末で、録画に関する以下のような自動で録画する機能を利用していますか。あなたの機器に備わっている機能、実際に利用している機能をすべてお知らせください。(Q14-SA)

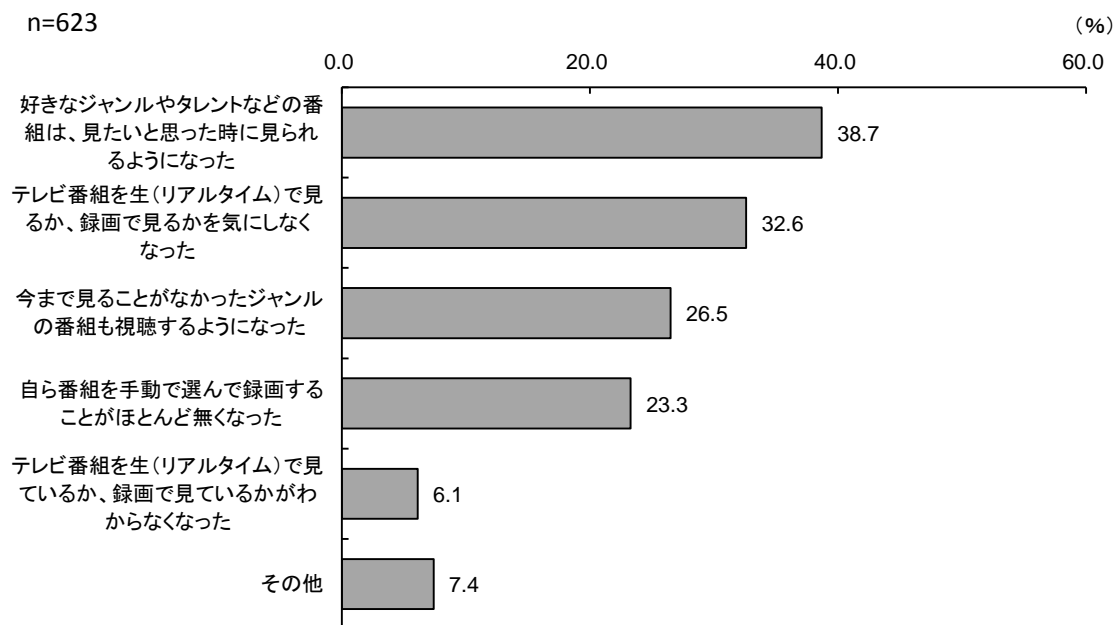


以上の、録画機器の大容量化や機能充実によって、ユーザの録画行為にも変化が生じている。録画機器の大容量化については、ハイビジョン番組もそのままの高画質・高音質で録画するユーザ（39.3%）の増加や今まで見なかった時間帯の番組録画の増加（35.6%）につながっているとみられる（P. 17, 図表 1-17）。また、自動録画機能によって、そもそもテレビ番組をリアルタイムで見るか録画で見るかを気にしなくなったユーザ（32.6%）も一定数存在している（P. 18, 図表 1-18）。

図表 1-17 [WEB] 以下の各内容についてそれぞれあてはまるものをひとつずつお選びください。
(Q38-SA)

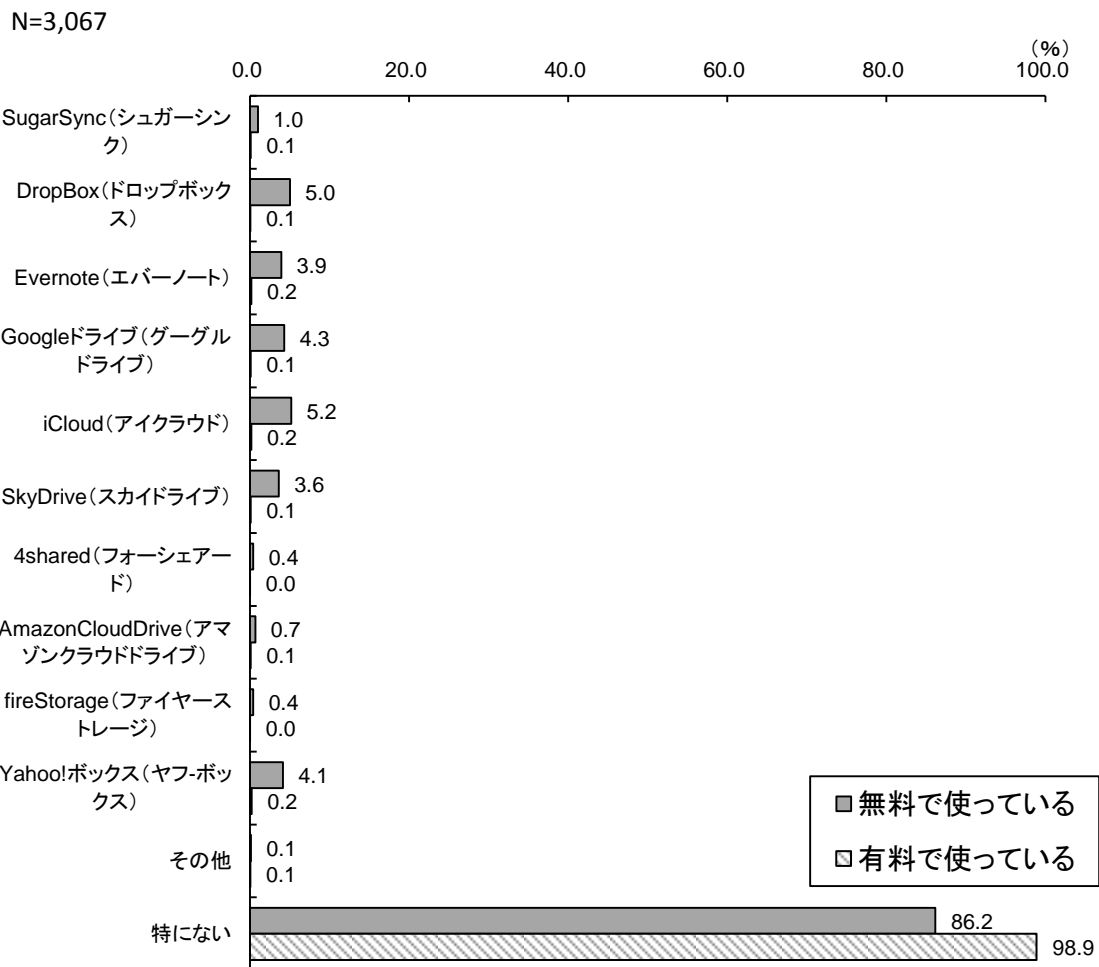


図表 1-18 [WEB] 自動で録画してくれる機能がついている録画機器をお持ちの方(お持ちだった方)にお伺いします。自動録画機能を利用することで、以下の様な変化がありましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。(Q15・MA)



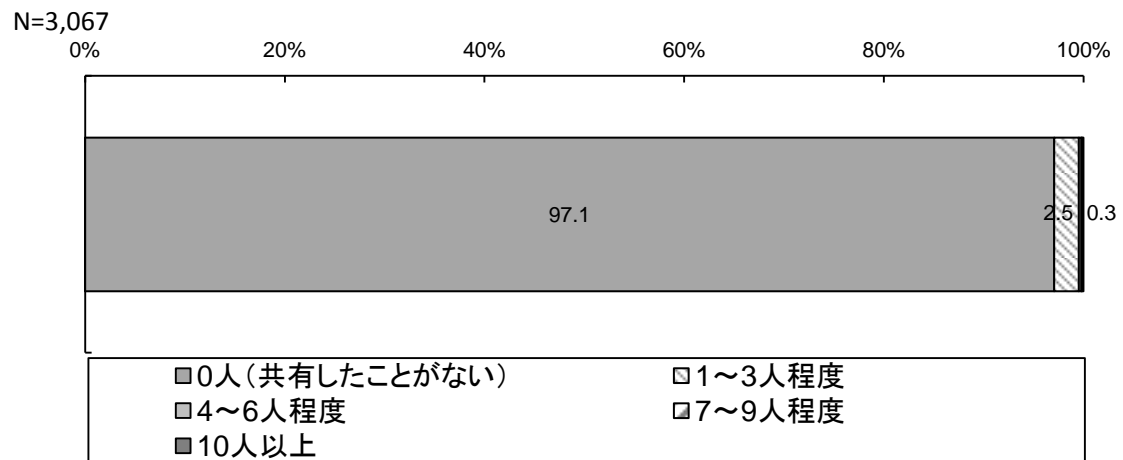
DropBox や Google ドライブなどのクラウドサービス（無料・有料）の普及による録画行為への影響については、テレビ番組の保存・共有に使用しているユーザは少なく（P. 19, 図表 1-19、P. 20, 図表 1-20）、また、使用している場合でも保存容量は10GB未満が大半であり、現在のところ、録画行為への影響は限定的であると考えられる（P. 21, 図表 1-21）。

図表 1-19 [WEB] あなたは以下のクラウドサービスをテレビ番組保存用に利用していますか。無料で使っているもの、有料で使っているものに分けてお選びください。(Q35・MA)

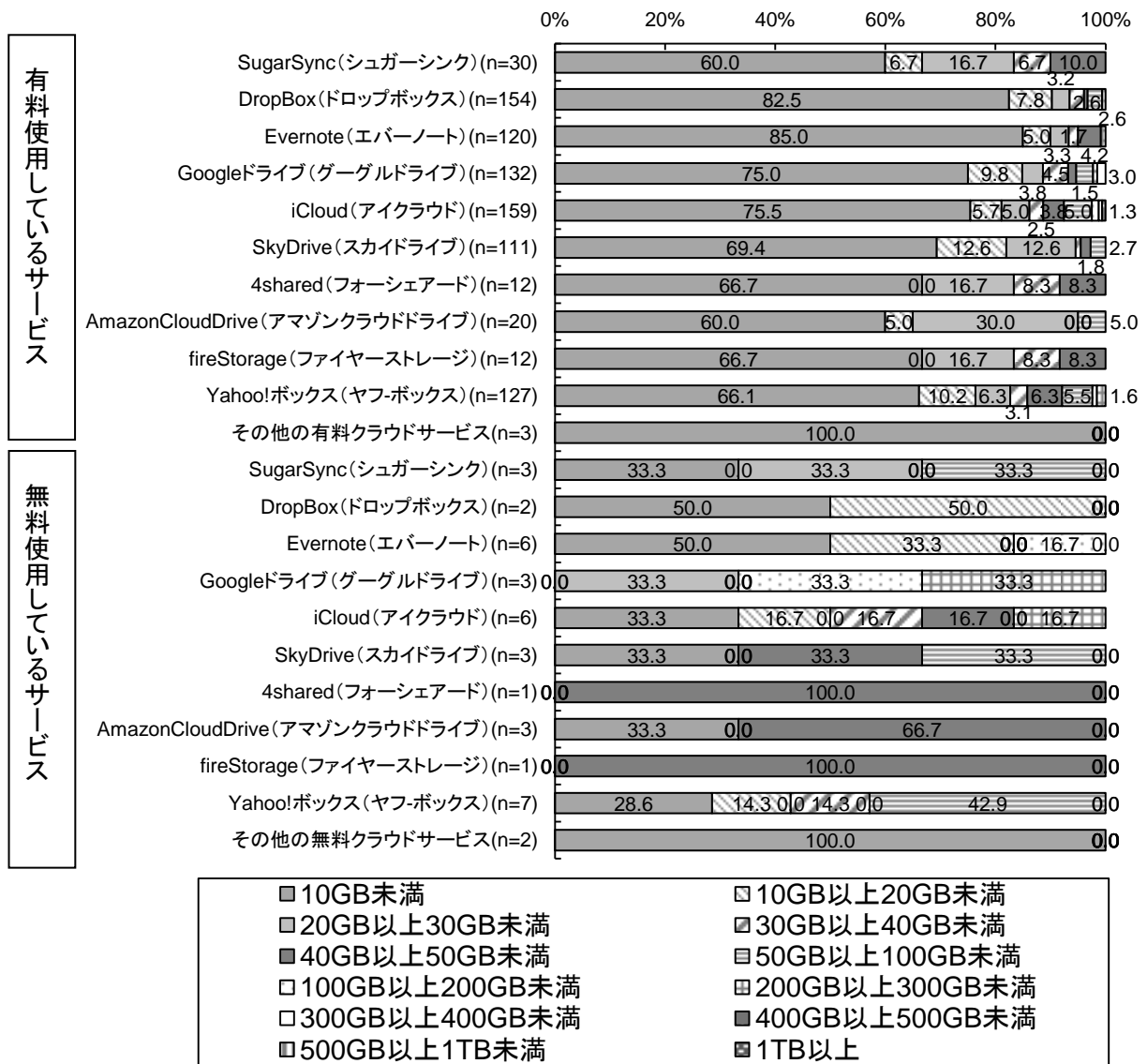


(注) 無料と有料両方でサービスを利用している回答者は「有料で使っている」を選択している。

図表 1-20 [WEB] クラウドサービスをテレビ番組共有用に利用したことはありますか。
 利用したことがある方は過去 1 年間に、およそ何人くらいに映像を共有したことがありますか。
 (Q37・SA)



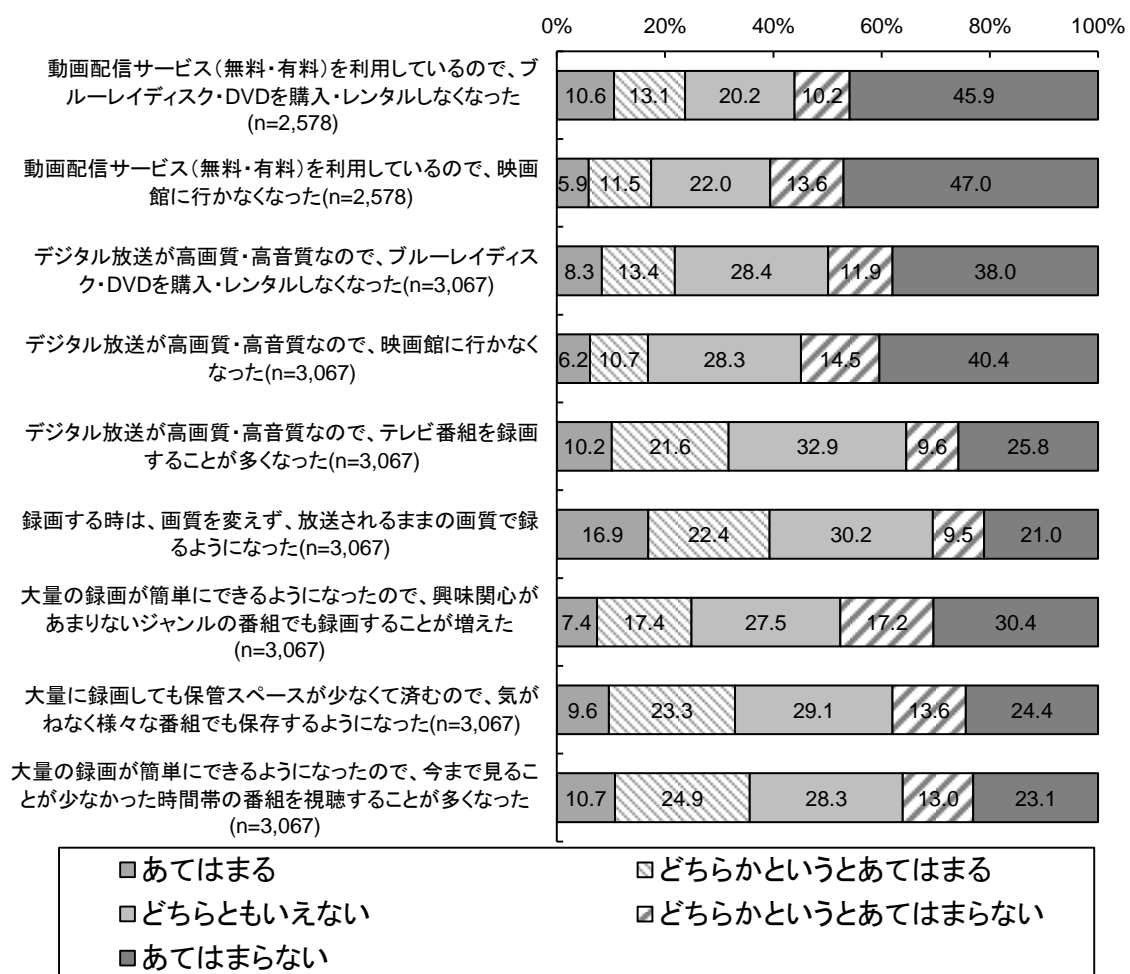
図表 1-21 [WEB] クラウドサービスをテレビ番組保存用に利用している方にお聞きます。保存可能容量はどのくらいですか。それぞれのサービスについてひとつずつお選びください。(Q36・SA)



Youtube、Hulu などの動画配信サービス（無料・有料）の利用による、ブルーレイディスクや DVD ディスクの購入・レンタルと映画館の利用への影響をみると、動画配信サービスを利用している回答者の約半数がブルーレイ、DVD ディスクの購入・レンタルは減っていないと回答している。また、映画館の利用についても約半数が減っていないと回答している（P. 22, 図表 1-22）。以上より、動画配信サービスのブルーレイ、DVD ディスクの購入・レンタルと映画館の利用への影響は、現時点では大きいとは言えない。

図表 1-22 [WEB] 以下の各内容についてそれぞれあてはまるものをひとつずつお選びください。

(Q38-SA)



参考図表 1 [WEB] あなたが録画・コピー(ダビング)したテレビ番組のうち、実際に視聴するのはどの
 くらいの割合ですか。複数の機器で録画している方は、全ての機器の平均をお選びください。

(Q9-SA)

